

国立研究開発法人情報通信研究機構の理事長となるべき者の選任理由

国立研究開発法人情報通信研究機構（以下「機構」という。）は、ICT分野を専門とする我が国唯一の公的研究機関として、ICT分野の基礎的・基盤的な研究開発、研究開発成果の社会実装、情報通信事業の支援、標準時の通報等の業務を行う法人である。

当該機構にあって、理事長のポストには、そのミッションとして、本法人の基本的な運営方針を立案し、総務大臣の定める中長期目標及びその達成のための中長期計画に基づき、法人全体の運営管理業務を総理することが求められる。

徳田 英幸氏は、ビッグデータ、コンピュータ、ネットワーク等の広範な分野において基礎研究から実社会への応用まで幅広い研究開発に取り組むとともに、これまで、総務省情報通信審議会情報通信技術分科会長、内閣サイバーセキュリティセンターのサイバーセキュリティ補佐官、IoT推進コンソーシアムのスマートIoT推進フォーラム座長、情報処理学会副会長をはじめとした産学官のリーダーを務められる等高い見識を有している。また、慶應義塾大学常任理事、環境情報学部長、同大学院政策・メディア研究科委員長を務めるなど組織のガバナンスについても豊富な経験を有している。

これらの見識、経験や能力等を踏まえて、機構に求められる機能や役割、有識者の意見などを総合的に判断した上で、任命権者である総務大臣が選任したものである。